

助成対象活動報告シート

助成メニュー： 組織基盤強化助成

団体名： 平針北学区連絡協議会

1 助成を受けて実施した活動

※ 活動の様子がわかる写真(数枚)を入れ込んで記入してください。

①住民アンケートの実施と分析

町内会の認知度、加入のハードル、求められる情報などを把握。特に単身世帯・若年層のニーズを重点的に収集した。

②ホームページのプロトタイプ作成と意見収集

地域住民との意見交換会で試作版を公開し、操作性・掲載内容などについて具体的な改善点を得た。

③ホームページ設計・デザインの策定

地元企画会社と連携し、設計方針を確定。

④SNS 運用の実施

Instagram・X を継続運用し、イベント情報や学区の魅力を定期的に発信。

⑤運営体制づくりの開始

ホームページ運営担当者の役割分担を整理し、継続的な運用を見据えた体制の骨子を整備。

⑥先行事例の調査実施

他団体の「デジタル活用事例」を収集し、運用体制構築の参考にした。

【地域住民意見交換会】



【現行ホームページ】



【新ホームページ】（※現在構築中）



2 活動の成果および目標達成度合い

①住民フィードバックの反映

プロトタイプ公開により、住民から「どの情報が必要か」「どこが見つらいか」など具体的な意見が得られ、改善に反映できた。

②若年層・単身世帯へのアプローチの必要性を再確認

地域住民意見交換会にて、SNS 活用による「町内会の情報発信」が必要という声が確認された。

③継続的な情報発信に向けた“運用体制”の基盤が形成された

ホームページを継続運用するための基盤の必要性を認識することができ、運用体制構築に向けた活動を開始。運用担当者の役割整理が進み、今後の継続運用に向けた準備が整いつつある。

④今年度の成果と次年度の展望

効果的な情報発信のための意見収集やホームページの枠組み作成までは完了した。

ホームページの継続的な運用を見据え、「デジタル広報サークル」を設立し、そのメンバーが中心となって公開作業をしていくことが重要であると議論されたため、ホームページ内に掲載するコンテンツ作成及びその公開については、4月以降早期に取り組んでいくこととした。

3 活動により見えた課題

①ホームページだけでは加入率向上に直結しない点

情報発信に加え、活動そのものの魅力づくり（単身世帯が参加しやすい企画など）が必要。

②SNS 更新の負担と体制の弱さ

ボランティアによる運用を検討しているが、継続的な更新体制の確立が必要。

③住民フィードバックのさらなる収集が必要

より幅広い層からの意見収集が課題。

④町内会加入手続きの分かりやすさの改善余地

加入方法の導線や説明をさらに明確化し、幅広く情報発信する必要がある。

4 今後の活動等の展望

①リニューアル後のホームページの公開

4月以降コンテンツを収集・作成し、ホームページの早期公開を目指す。

②加入率向上に直結するホームページ運営へシフト

「作る」から「活用する」段階へ移行し、町内会活動の魅力訴求を継続的に行う。

③単身世帯・若年層が参加しやすい活動づくり

評価意見を踏まえ、活動そのものの魅力向上にも取り組む。

④住民フィードバックの継続収集

アンケートやアクセス分析を行い、改善を続ける。

⑤SNS・ホームページの連動強化

SNS で興味を持った住民がホームページで加入手続きに進める導線を整備。

⑥運営体制の強化とスキルアップ

鮮度の良い情報発信を継続し、デジタル広報組織が自走できる体制を確立。

※ 「令和7年度 地域まちづくり支援制度 活動助成募集要項 成長支援・実践活動助成」のP.5「概要・趣旨」およびP.14の「メニュー別視点」を踏まえてご記入ください。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、2ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさ日本産業規格 A4 とする。

※ この様式は公開されます。